

## 令和元年度第2回自治体等FM連絡会議多摩地域会の開催報告

多摩地域会代表幹事 小平市企画政策部公共施設マネジメント課  
施設マネジメント担当 小林 麻利子

**開催日時** 令和2年1月31日（金） 午後1時30分から午後4時40分まで

**開催場所** 武蔵野スイングホール スカイルーム（東京都武蔵野市）

**参加者数** 38人

### 内容報告

#### 1 「SIMULATION2030」紹介及び体験

**講師** 小平市 教育部 教育総務課 課長補佐 飯島 健一 氏

各自治体においては、令和2年度を目途に、個別施設計画の策定に向けて、それぞれ取組を進めている状況であり、既に策定が完了した公共施設等総合管理計画については、国の指針が改訂されたことに伴い、令和3年度を目途に、計画の見直しや充実に向けた検討を進めている最中です。

このような流れの中、多くの自治体で策定している個別計画の最上位に位置づけられる長期総合計画の改定時期を迎えつつあり、様々な検討の手法を思案している状況です。今回の地域会では、公共施設マネジメントにとどまらず、広い視野で市政を考え、計画策定の検討手法の1つとして、自治体経営ゲーム「SIMULATION2030」を体験して頂ければと思い、「SIMULATION こだいら2030」の製作に携わった小平市の飯島氏を講師に迎えて、体験しました。



「SIMULATION2030」は自治体の近未来をシミュレーションゲーム形式で仮想体験する「対話型自治体経営シミュレーションゲーム」です。1チーム5名編成で、目標となる2030年までに、限られた予算で、どんな施策と事業によって市の将来像を具体化するか、熱い議論を通して学ぶことができました。最初に、企画総務、健康福祉、都市環境、子ども教育、地域振興の各「部長」に任命され、「人口減少社会の到来で税収が減り、少子高齢化で社会保障費が膨らんでいます。限りある財源をいかに有効に使うかが重要です。」という仮想市長からの訓示のもと、各チーム内で議論を重ね、終盤は他チームの議会で説明を行い、施策を具体化します。予算編成の難しさや未来を見据えて事業を取捨選択すること、各部署の立場を越えた情報共有、意見の対立を対話で乗り越える重要性などを学びながら、チームごとに「わがまち」の強みと特色を目指して、楽しんで取り組むことができました。



## 2 その他

終了後のアンケートでは、「事業の選択をすることの難しさを改めて感じました。」、「物事を多角的にとらえることの重要性を再認識できました。」、「実際にある話も織り混ぜながら、“自分事”に考えることができた。」、「FM以外の事業も含めて、選択説明するイメージが湧きました！」など、知識・考え方・スキルの習得ができ、意識転換につながった旨の意見を多く頂きました。また、講演と異なり、他の自治体の方とたくさん会話をすることができ、前向きに取り組めるワークであったとの声を頂きました。2時間30分と地域会のほとんどの時間をシミュレーションゲームに充てるという、チャレンジを伴う企画でしたが、今後も形にとらわれず参加者にとって有意義となる内容を考えていきたいと思えます。

今後も、FMの取組を進める各団体の活発な連携や情報共有の助けとなるよう、引き続き多摩地域会を開催したいと考えております。みなさまのご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。